

# ミニおにぎり集会で木とリスをしよう —もっと仲良くなるために—

1年特別活動 6月 6Q〈2時間〉  
附属新潟小学校 教諭 八子 正彦

## 1 本単元で目指す姿

**他者の意見に共感して話し合い、見いだしたことを生かして遊びを楽しむ子ども**

具体的には、「1回目はなかなか3人組をつくれなかった。でも、2回目はいろいろな人が私を呼んでくれて、すぐに3人組ができて楽しかった。学級会で3人組をつくれてない人を呼ぼうって決めたから、そうしてくれたんだと思う」などと、遊びが楽しくなった理由を振り返る姿。

## 2 本単元で育成する資質・能力（評価基準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
特別活動	○自主的な話し合い活動の進め方についての知識や技能	○所属する様々な集団や社会、自己の生活上の課題を見いだす力 ○話し合いについての合意形成を図る力 ○課題解決のために考えたり話し合ったりしたことを基に、自分の意思を決定する力	○協力して目標を達成しようとする態度

## 3 関連する学習

[第1学年] 特別活動  
—みんなよろしくの会をしよう—



[第1学年] 特別活動  
—ミニおにぎり集会で木とリスをしよう—

## 4 単元の計画

	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	Q
特別活動	<p>○ CCTで木とリスを行い、その感想を書く。</p> <p>○ 遊んで「楽しかった」「楽しくなかった」と感じた人数を見て、自分と異なる感想をもった人がいることに気付く。 ・えーっ。楽しくなかった人がいるんだ。</p> <p>○ <b>学級目標のおにぎりにみたいに、みんなまとまってない。</b></p> <p>○ <b>バラバラになっている感じがする。</b> ☆特別活動②</p> <p>学習課題 ◎ もっとみんな楽しく遊びたい。</p> <p>○ 立場を明確にして、遊びの難しさと楽しさを考える。 (木とリスが楽しかった子ども) ・なかなか3人組になれない人がいた。 (木とリスが楽しくなかった子ども) ・グループに入れてもらおうとうれいんじゃないかな。</p>	<p>※ 木とリスについての感想を集約する。</p> <p>※ 木とリスのアンケート結果を提示する。</p> <p>◆ <b>遊んで「楽しかった」「楽しくなかった」と感じた人数を提示する。</b> 【働き掛け1】</p> <p>※ 「これは、みんなが目指す学級目標の『おにぎり』になっていますか」と問う。</p> <p>◆ <b>遊びの難しさと楽しさ、共通するものを問う。</b> 【働き掛け2】</p> <p>※ ワークシートを配付し、書かせる。</p> <p>※ 「楽しかった」と感じた子どもには遊びの難しさを、「楽しくなかった」と感じた子どもには遊びの楽しさを問う。</p>	3Q 1時間

○ 木とリスは、3人組をつくるのが難しいと思うよ。  
 ○ 木とリスは、いろいろな人といっしょにグループをつくって、楽しそうだった。  
**☆特別活動②， ツール活用能力**

○ 難しさと楽しさに共通することを考える。

○ 3人組になることは、どちらにも入っているよ。  
 ○ 3人組になるルールをなくしたら、楽しかった人も楽しくなくなってしまうな。  
**☆ツール活用能力**

○ 3人組をつくる難しさを軽減する方法を考える。

○ 3人組をつくる難しさを減らすために、入るグループを探している人を呼ぶ。  
 ○ 3人組をつくる難しさを減らすために、「リス入れてー」と言いながら、入れる木を探す。  
**☆特別活動①②③**

○ 3人組をつくる難しさを軽減する方法を選択する。

○ 3人組をつくれな人がいたら、自分のグループに呼んであげよう。  
 ○ いっしょに3人組になってくれる人を呼びながら探そう。  
 (行動例)  
 ○ 3人組に入れていない人を自分のグループに呼ぶ。  
 ○ 「誰か入れてー」などと言いながら、入れそうなグループを探す。  
**☆特別活動②， 協働性**

○ 試しの活動を行う。  
 ○ みんなで話し合ったことを基に行動したことが、遊ぶ楽しさにつながることに気付く。

○ 1回目はなかなか3人組をつくれなかった。でも、2回目はいろいろな人が私を呼んでくれて、すぐに3人組ができて楽しかった。学級会で3人組をつくれな人を呼ぼうって決めたから、そうしてくれたんだと思う。

○ 準備をして、ミニおにぎり集会を行う。

※ 「もっとみんなで楽しく遊ぶために、これからどんなことを考えていきたいか教えてください」(指示)

※ 共通点を問う。

◆ 遊びの難しさを軽減する方法を問う。  
**【働き掛け3】**

※ 議題について考えたり発表したりしやすくするために、ペアで話し合わせてから全体で発表させる。  
 ※ 「それは、どんな人(誰)のための意見ですか」(補助発問)

◆ もっとみんなで楽しく遊ぶために自分に生かせそうな方法を問い、試しの活動を行わせる。  
**【働き掛け4】**

※ 「試しの活動をして、木とリスの難しさを減らすために自分の選んだ方法をやってみましょう」(指示)  
 ※ 5分程度遊んだら、元の場所に戻らせる。

※ 振り返りを書かせる。  
 ※ 最初の遊びの感想や3人組をつくる難しさを軽減する方法を提示し、3人組をつくる難しさやそれを軽減するために話し合ったことを想起させる。

◆ ミニ集会を設定する。  
**【働き掛け5】**

※ 遊ぶ前に、自分のめあてを確認させる。

3 Q  
1 時間